

みて!よんで!しゅっ

# ぎがいのひろば



## 町の未来を考える



## ～中学生議員が提言～



トピック

- ・「子ども議会2024」開催…… P2・3
- ・一般質問 5氏が登壇…… P9～14

志賀町議会



# 子ども議会 2024



令和6年11月18日、町議会議場で「子ども議会2024」が開催されました。

志賀中と富来中の3年生18人が議員となって、「震災後の復興に向けた町づくり」をテーマに、復興に向けた意見や提案を行いました。

本会議終了後には、町議会議員との懇談会を行いました。

## 16人の子ども議員

- ① 泉 圭翼 (志)
- ② 野澤 美咲 (志)
- ③ 岡 知花 (富)
- ④ 藤田 紗綾 (志)
- ⑤ 福田 彩葉 (志)
- ⑥ 篠田 真琴 (富)
- ⑦ 堀 椋奈 (志)
- ⑧ テツヤ ディット プラタマ (富)
- ⑨ 南 友理 (志)
- ⑩ 田中 真依 (志)
- ⑪ 橋 苺々杏 (富)
- ⑫ 稲垣 凪人 (志)
- ⑬ 野口 瑠菜 (富)
- ⑭ 新田 樹里 (志)
- ⑮ 寺井 美華 (富)
- ⑯ 曾根 杏奈 (志)

志…志賀中、富…富来中

※質問登壇順及び表紙写真(左上から)



## 議長の大役を務めた生徒



いしかわ れん 蓮 議長 (志賀中)



ひがし 東 ゆり 議長 (富来中)

**町長** 富来活性化センターの一室に平日は午後8時まで、土日は午後6時まで利用できる自習室を設置する。  
志賀町文化ホール学習フウンジの、平日の利用時間を午後8時までに変更する。

**岡** 震災の影響で富来中に富来小が併設され、校舎に空き教室がない。  
自宅も被災し、集中して勉強できるスペースがないと困っている生徒が多い。  
児童生徒が主体的に学習に励む環境づくりとして、富来活性化センターに自習室の設置を提案する。



おか ち は な 知花 議員 (富来中)

★CHECK★  
自習室の設置を

**町長** 今回の能登半島地震で個人の井戸や集落の共同井戸を開放し、入浴や洗濯、トイレ等に利用されていたとの報告があり、井戸の重要性を再認識した。  
災害時に協力していただける井戸の所有者を募って、1地区あたり1、2か所程度確保できるよう調整する。  
防災アプリ等への掲載も検討する。

**福田** 能登半島地震では、水道が使えず不便になった。  
震災時に使用できる既存井戸を町のホームページや専用のアプリ・SNSなどに示し、町民に発信すればどうか。



ふくだ あやは 彩葉 議員 (志賀中)

★CHECK★  
災害時に  
既存井戸の使用を

# 子ども議会を体験した感想は？

時間が長く感じました。これを毎回やっているのはすごいと思いました。

# 子ども議員に聴きました！

他の人の質問や回答を聞いて、町の現状は復興を含め、大変なことが多いと感じました。志賀町の議員さんにはいろいろがんばってほしいと感じました。



## 議員との懇談会



議員との懇談会では、「議員になるときにどんな町にしたいと思いましたか」「自分の意見を人に伝えたいとき大切にしていることはなんですか」など、議員が緊張した質問から、「自分の力の元になった『座右の銘』はありますか」との思いがけない質問に議員が驚く場面がありました。

11 ch

『子ども議会2024』は「しかちゃん」で、次の日時に放送します。ぜひご覧ください。

【放送日時】  
令和7年2月1日～15日  
【前編】21時から  
【後編】22時から  
令和7年2月16日～28日  
【前編】11時から  
【後編】12時から

子ども議員の皆さん、たいへんお疲れ様でした。私たち議員も皆さんの質問から大人では気付かない新たな視点をもらう事ができ、初心を思い出す良い機会になりました。子ども議員の皆さんには今日の体験をもとに、明日の志賀町についての関心を深めていただきたいと思います。



福田晃悦 議長

子ども議会を終えて……

12月定例会は、12月3日から同月17日までの15日間の会期で開かれ、報告1件、一般会計及び病院事業会計の補正予算に係る専決処分の承認が3件、令和6年度の補正予算をはじめ、条例の制定及び改正、指定管理者の指定などの議案15件、人権擁護委員の諮問が2件、議会議案の2件を審議しました。（※議決結果はp8参照）

提案理由説明の映像はコチラから →



## 一般会計補正予算(第7号)を撤回

## 新たな補正予算を追加提出



撤回理由を述べる稲岡町長

稲岡町長は、今定例会で提出した予算案の中の災害公営住宅整備事業にかかる調査測量設計委託料について、「予算決算常任委員会で質疑を重ねたが、さらに慎重な審議を深める必要がある」と判断し、一般会計補正予算(第7号)を撤回しました。

その後、調査測量設計委託料を除いた新たな補正予算案(第8号)が追加提出され、賛成多数で可決されました。

## 令和6年度専決補正を承認

会計名		補正額	予算額
一般会計		1635万円	440億5779万円
病院事業会計	収益的収入	△2億3960万円	14億9913万円
	収益的支出	△6億6000万円	16億1470万円
	資本的収入	6億6000万円	10億8221万円
	資本的支出	6億6000万円	11億8819万円

### 《一般会計 主な補正理由》

衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査の実施に伴う所要額を補正

## 令和6年度補正を可決

会計名		補正額	予算額	
一般会計		17億3732万円	457億9511万円	
特別・企業会計	国民健康保険	4億2337万円	25億7261万円	
	介護保険	1億6783万円	32億5412万円	
	診療所事業	1530万円	2億916万円	
	水道	収益的収入	4万円	9億767万円
		収益的支出	109万円	6億349万円
		資本的支出	53万円	19億4739万円
	下水道	収益的支出	59万円	14億2189万円
資本的支出		76万円	56億8933万円	

### 《一般会計 主な補正理由》

#### (歳入)

- ・調定見込による町民税、固定資産税の増額
- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額

#### (歳出)

- ・県復興基金を活用した事業費の増額
- ・JA志賀が実施する共同利用施設の災害復旧費に対する補助金の増額



# 指定管理を更新

4施設の指定管理者決まる  
 いずれも現行の指定管理者が継続へ  
 (指定期間: 令和7年4月1日から  
 令和12年3月31日までの5年間)



## 地域振興拠点施設 (アクアパーク シ・オン)

指定管理者:  
 シオンマネージメント 株式会社



## 能登リゾートエリア増穂浦

指定管理者:  
 一般社団法人 志賀町観光協会



## 農産物直売所 (みちのえき旬菜館)

指定管理者:  
 志賀農業協同組合



## 志賀の郷運動公園

指定管理者:  
 株式会社 いこいの村能登半島



# 総務産業建設 / 教育民生

常任委員会

常任委員会

## 指定管理について聞く

**質疑** 随意指定した理由にある「適正な管理」とは。

**答弁** 効率的な管理運営のノウハウを持つことや、利用者増加への工夫にも取り組んでいることなどを評価したものである。

**質疑** 年に一度は議会に経過報告を行う必要があるのではないか。

**答弁** 3月の予算審議において指定管理施設の経営状況の資料を示しているが、今回出された意見を踏まえ、基本協定の締結時にも資料を示すよう検討する。

## ※指定管理制度とは・・・

スポーツ・レクリエーション施設や福祉施設、文化施設など、住民の皆さんに直接利用していただく「公の施設」の管理運営を広く民間の事業者や団体にも任せられる制度です。

多様化する住民ニーズに、より効果的・効率的に対応するために、民間事業者の有するノウハウを広く活用し、住民サービスの向上や行政コストの節減が期待されています。





## 予算決算 常任委員会

当初予算・補正予算・決算にかかる分野を審査します。

### 一般会計

公費解体による  
固定資産税への影響は

質疑

公費解体による固定資産税の減収についてシミュレーションをおこなっているか。

答弁

公費解体および建物の損耗などにより1億円から1億2千万円の減収を見込む。

質疑

公費解体された建物は解体後、すぐに課税されなくなるのか。

答弁

公費解体担当課からの情報を基に、令和6年度から減免する。

### 災害公営住宅 整備事業を聞く

質疑

調査費用が計上される建設候補地は浸水区域内である。

災害公営住宅の建設候補地はハザード的に問題がない場所を示すべきであり、

町民が安心して住める場所を精査すべきではないか。

答弁

町は現時点でスピードを持って先行着手できる町有地を候補地とし、調査費を上程したものである。

今回の候補地は、国の直轄調査により選定された一候補地であり、建物の構造により整備可能となっている。

今後も、地元の方や議会と協議しながら候補地の選定を進める。

質疑

国の直轄調査とは何か。

答弁

国土交通省が志賀町を復興するため、専門的知見や現地調査、データ解析により、どこへどのようなものを整備していくかを調査し、提案していくものである。

復興計画策定やアンケート調査なども手掛けている。

質疑

災害公営住宅整備事業予算の内訳を聞く。

答弁

測量調査委託料で、地質調査・用地測量を行うものである。

測量の結果により、住宅の構造を検討する調査費である。

測量の結果により、住宅の構造を検討する調査費である。

### イノシシの 現在の状況は

質疑

イノシシ捕獲奨励金が増額とあるが、現在の状況を聞く。

答弁

年々増加している。  
3年度…215頭  
4年度…470頭  
5年度…505頭  
6年度…478頭  
(11月末時点)

### 特別・企業会計

#### 個人管理の 浄化槽補助は

浄化槽の修繕補助の期間はいつまでか。

質疑

本補助事業は災害復旧で行う事業ではなく、循環型の交付金であり、町は国に単年度ごとの交付申請を行う事業である。

答弁

申請が低調であったため、今年度は1月末まで期限を延長した。

令和6年1月の発災に遡って申請は可能であり、次年度も補助額を計上していく。

令和6年1月の発災に遡って申請は可能であり、次年度も補助額を計上していく。

令和6年1月の発災に遡って申請は可能であり、次年度も補助額を計上していく。

令和6年1月の発災に遡って申請は可能であり、次年度も補助額を計上していく。

### 農村地域コミュニティ 再生モデルとは

質疑

農村地域コミュニティ再生モデル事業の内容を聞く。

答弁

被災した農村地域において、農地の営業再開をサポートし、新たな営農体制の確立や地域の機能を再生することなど、県的全額補助で早期の復旧を目的としたモデル事業である。



討論・採決の映像は  
← コチラから

## 議案に対する 討論

**討論**とは、議案や請願に対し、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べて他の議員に賛同を求めるものです。

賛成

反対



反対

### 中谷 松助 議員

議案第77号・78号・80号

物価高騰に賃上げなどが追い付いておらず、町民の暮らしも一層厳しさを増している。深刻な被災の中、議員・町特別職のボーナスアップは町民の理解を得られるものではなく、据え置くべきとの考えから、**反対**。



討論を行う中谷議員



討論を行う林議員

賛成

### 林 一夫 議員

議案第80号

多方面にわたり、早急な対応が求められる案件が多く盛り込まれた補正予算であり、1日も早い復旧復興はもとより、生活に苦しむ方々への給付などが遅れることのないよう、速やかなる予算執行と行政が停滞することがないように願うとの考えから、**賛成**。

## 意見書

**意見書**とは、地方公共団体の公益にかかわる事柄に関して、国会または関係行政庁に提出する文書です。

### 災害公営住宅の建設等に対する更なる支援を求める意見書

提出議員：表谷 茂浩



#### 【意見書趣旨】

自己再建困難者が多数となる被災地の現状を踏まえ、災害公営住宅の建設等に対し、最大限の措置を講じられるよう、強く要望する。

2件の意見書は全会一致で可決し、関係大臣、衆参議長に送付されました。

### 学校施設における防災対策への更なる支援を求める意見書

提出議員：小林 克嘉



#### 【意見書趣旨】

学校施設の防災対策関連予算を継続的・安定的に確保するとともに、学校施設環境改善交付金について、交付対象の拡大や国の負担割合の引上げを行うなど、学校施設の防災対策に対する支援の強化を図られるよう、強く要望する。

# 12月定例会

# 議決結果

※議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名と主な内容 (議案名は一部省略してあります)	議決結果
報告 5	専決処分の報告(損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定)	報告のみ
承認 33～35	専決処分の承認(令和6年度一般会計補正予算(第5号)～令和6年度町立富来病院事業会計補正予算(第2号))…4ページ参照	承認 賛11 反0
議案 65～69	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)～令和6年度下水道事業会計補正予算(第4号)…4ページ参照	可決 賛11 反0
議案 70	令和6年能登半島地震復興基金条例…大きな被害を受けた町民の暮らしとコミュニティ、なりわいの再建をはじめとする町の復旧・復興に要する経費に充てるため、復興基金を設置するにあたり、新たに条例を制定。	可決 賛11 反0
議案 71	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例…健康保険証廃止に伴い被保険者確認を個人番号利用による特定個人情報にて確認するため、医療保険給付関係情報を新たに追加するため、所要の改正。	可決 賛11 反0
議案 72	指定管理者の指定…引き続き、5年間指定する。(指定期間:令和7年4月1日～令和12年3月31日) 地域振興拠点施設(アクアパーク シ・オン):シオンマネージメント株式会社	可決 賛10 反0 ※除斥1
議案 73 74 76	指定管理者の指定…引き続き、5年間指定する。(指定期間:令和7年4月1日～令和12年3月31日) 能登リゾートエリア増穂浦:一般社団法人志賀町観光協会 農産物直売所(みちのえき 旬菜館):志賀農業協同組合 志賀の郷運動公園:株式会社いこいの村能登半島	可決 賛11 反0
議案 77	議会議員等の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例…人事院勧告に準じ、議会議員の期末手当について、所要の改正。	可決 賛10 反1
議案 78	常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例…人事院勧告に準じ、常勤の特別職の期末手当について、所要の改正。	可決 賛10 反1
議案 79	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例…人事院勧告に準じ、一般職の給与条例の一部を改正。	可決 賛11 反0
諮問 1・2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるもの…人権擁護委員の任期満了に伴う推薦で、村田真紀子氏(高浜町・新任)、関口まゆみ氏(里本江・再任)の答申を求めるもの。	適任 賛11 反0
発議 4	災害公営住宅の建設等に対する更なる支援を求める意見書…7ページ参照 提出者:表谷茂浩 議員 賛成者:櫻井俊一 議員、富澤軒康 議員	可決 賛11 反0
発議 5	学校施設における防災対策への更なる支援を求める意見書…7ページ参照 提出者:小林克嘉 議員 賛成者:櫻井俊一 議員、富澤軒康 議員	可決 賛11 反0
議案 80	令和6年度一般会計補正予算(第8号)…7ページ参照	可決 賛10 反1



議案第80号採決の様子  
賛成多数で可決した

【一般質問とは】

議員が町政一般について、報告や説明を求め、質問することをいいます。

1人あたりの持ち時間は答弁を含めて概ね40分です。

# 5氏が登壇 町政を問う！



**南 正紀 議員**

(10 ページ)

- 1 復興計画に対する住民からの意見聴取について
- 2 全国、世界に羽ばたく青少年への支援について
- 3 子育て支援、少子化対策の視点について

**小林 克嘉 議員**

(11 ページ)

- 1 タウンミーティングの今後について
- 2 解体が進む地域の過疎化に対する対策について

**中谷 松助 議員**

(12 ページ)

- 1 マイナ保険証保持者にも「資格確認書」の送付を
- 2 本町奨学金制度の利用条件緩和を
- 3 あったか福祉灯油の復活を
- 4 とぎ地域福祉センター、ますほの湯の早期復旧を
- 5 生神トンネル内中央部を明るくさせたい
- 6 国県、町道内センターライン等のはっきり化を
- 7 女性管理職の積極的登用を
- 8 志賀原子力発電所の廃炉を求めよ

**梢 正美 議員**

(13 ページ)

- 1 復興に向けて本町の最大の課題対策とそのための戦略に対する考えを問う
- 2 志賀高校存続の危機と人口減少・経済損失、教育格差の影響を問う
- 3 志賀原子力発電所の防災体制で「逃げずに避難」の体制を確立する考えを聞く

**堂下 健一 議員**

(14 ページ)

- 1 今後の災害時の防災備蓄について
- 2 女性の今後の管理職登用について
- 3 文化遺産や町が所有する芸術作品の展示する場の構想は
- 4 原子力防災について



一般質問を終えた議員の感想です。



# 全国に羽ばたく青少年に支援を

## 拡充する方向で検討する

教育長



南 正紀 議員



動画はコチラから

**南** 近年、本町の青少年がスポーツにおける全国大会での活躍や世界大会への出場などが多く報告されている。しかしながら、大会出場に対する助成制度が本町にはないことから、以前より導入を提唱してきたが、現在の進捗状況を聞く。

また、文化・芸能・芸術等に対しても表彰制度の制定、助成制度の導入を求める。

**教育長**

現在、町スポーツ協会と協議しているところであり、世界大会に出場した場合は、現状の交通費補助を拡充する方向で検討している。

文化・芸能・芸術などの分野についても、スポーツ分野と併せて拡充する方向で検討している。

各分野において表彰規程があることから、対象者枠を広げるなど主催団体と共に検討していく。

# 志賀町復興計画 住民から意見を聴取せよ

## 意見交換の場を設ける

震災復旧復興創生室長

**南**

今回の震災復興計画は、決定したのではなく広く意見を求めブラッシュアップするものと再三説明を受けている。現在までにどのような意見聴取を行ったのか。また、寄せられた意見は、どの様に反映されているか。

本計画は、押し付けるものではないと聞くが、住民からの意見聴取も都度迅速に実施すべきである。現状と今後の見通し・計画を聞く。

**震災復旧復興創生室長**

復興計画策定時には、避難所避難者、各種団体関係者、住民の方々からのアンケートを実施し、計画の最終段階にはパブリックコメントとして、ご意見やご提言をいただいた。

計画策定後には、区長ミーティングとオープンミーティングを開催し、ご意見やご提言をいただいた。

これらの貴重な意見等を可能な限り復興施策や事業に反映していきたいと考えており、直ちに対応できるものから着手をしている。今後は、毎年、適時、意見交換の場を設けていきたい。

### その他の質問

**南**

子育て支援・少子化対策には親世代の目線だけでなく、本町で育つ子ども達が、何を求め、将来は何を望むのかを把握し対策が必要と考えるが、町長の考えを聞く。

**町長**

「子ども議会」を継続し、こども・若者が、今、何を求め、将来は何を望むのかを適時聞き取り、子育て支援、少子化対策に反映させていく。

議員の

ひとこと

強調したい文言を言い忘れた。原稿無しの難しさ。



2回開催されたオープンミーティング



小林 克嘉 議員



動画はコチラから

# 町民からの 意見の公開と計画を問う

## 事業計画や予算で反映する 町長

小林

先般開催されたタウンミーティング・オープンミーティングで「今の災害に対する対策と今後に取り組む避難計画」と「人が集える場所の整備」への意見が多数あった。両ミーティングで寄せられた意見の公開や復興計画への反映はどのように行うか。

町長

今後は地震をはじめ、大雨や台風など、さまざまな災害に対応できるよう、見直し後には、周知を行うとともに、町と地域が連携した運営に取り組む。

既存のスポーツ施設の多くが被災したことから、現在、調査設計業務と国の査定を経て、順次、復旧工事を実施し、環境を整えながら、集える場の提供を図る。

ミーティングの内容は町ホームページで公開しており、寄せられた貴重な意見等は町の事業計画や予算で反映していく。

### オープンミーティング

～みんなで語ろう。かえる、志賀町～

開催の結果はコチラから↓



## 地域の過疎化対策を求める

## 移住定住施策に力を入れる

震災復旧復興創生室長

小林

地震の影響で住居が解体され地域で空き地が目立つようになった。

今後、住人が減少し、地域のコミュニティが失われ、併せて地域の高齢化・過疎化が急速に進行する。現状に対する課題と今後の対策を聞く。

震災復旧復興創生室長

空き地は個人の財産であり、町では打つ手がないのが実情である。

就業の場と住環境、避難拠点施設等の安心・安全な環境整備を図り、移住定住施策にも力を入れることにより、宅地需要を喚起できれば、これらの空き地の流動化を図れると考える。

議員の

ひとこと

タウンミーティングで多く寄せられた意見は私にも多く寄せられ、今回はその内容を質問させていただきました。

町民の声を反映していただけるまであきらめずに今後も訴え続けていきたいと思います。



中谷 松助 議員

# マイナ保険証保持者にも「資格確認書」の送付を

## 保持者全員に送付する考えはない

住民課長



動画はコチラから

中谷

国は今までの健康保険証の新規発行を廃止し、マイナンバーカードと保険証を一体化したが、さまざまなケースで資格確認が出来ず、トラブルが増えている。本町では安心して受診できるように、マイナ保険証保持者全員に保険証の代わりとなる「資格確認書」の送付を求める。

住民課長

マイナ保険証保持者全員に「資格確認書」を交付することは、マイナ保険証で受診することが困難な方が申請した場合や、後期高齢者医療制度では、令和7年7月末までの間に新たに加入・内容変更が生じた場合などに限られており、「一律に「資格確認書」を交付することは認められていない。本町では国の制度に基づく運用を行っており、マイナ保険証保持者全員に「資格確認書」を送付する考えはない。

# 本町奨学金制度の利用条件緩和を

## 返済期間の延長、所得制限緩和を検討する

教育長

中谷

日本の高等教育は、高すぎる学費により家族にも甚大な負担を強いている。

本町独自の給付型奨学金の創設も視野に入れながら、返還期間延長等の利用条件を緩和した、奨学金制度の改善を求める。

教育長

町では利用条件の緩和を行い、町ホームページや広報しか、学校を通じて周知を図っている。

卒業後1年以内に町内に就労し、借りた期間と同じ期間継続して勤めた場合には、残りの最大半額の返済を免除する制度を創設するなど、町の奨学金制度は十分な制度である。

議員の

ひとこと

やはり日々の足運びが大事ですね。

本町独自の給付型奨学金の創設は考えていないが、返済期間の延長や所得制限の緩和等については、今後検討する。

### その他の質問

中谷

あつたか福祉灯油の復活を。

健康福祉課長

灯油購入助成事業に限定せず、より効果的な施策を実施する。

中谷

とぎ地域福祉センターますほの湯の早期復旧を。

健康福祉課長

施設全体の復旧工事完了は3月中旬を予定している。

中谷

生神トンネル内中央部を明るくさせたい。

まち整備課長

管理者である県では、

既存の設備の確認を行い、維持管理の徹底に努めるとの回答であり、町としても状況確認していく。

中谷

国県、町道内センターライン等のはっきり化を。

まち整備課長

区画線や危険箇所は、補修を行い、国県道の場合は、管理者である石川県にも対応を求める。

中谷

女性管理職の積極的登用を。

町長

意欲と能力のある管理職の登用にに向けて積極的に進める。

中谷

志賀原子力発電所の廃炉を求めよ。

環境安全課長

原子力規制委員会の審査状況及び国の動向を注視する。



梢 正美 議員



動画はコチラから

# 志賀高校の存続に尽力を

## 存続させるための意識や

## 愛着をもつことが重要 町長

梢

近年、日本の地方都市では人口減少や少子高齢化が深刻化し、地域経済の活性化が大きな課題となっている。

特に、若い世代の流出は地域社会の将来にとって深刻な問題であり、高校の魅力化は地域活性化の鍵を握ると言われている。

人口減少対策として、志賀高校の戦略的な魅力化プロジェクトの検討を求める。

町長

志賀高校は県立高校であり、町は補助金などで側面からの支援はできるが、運営に直接関与することはできない。

町民各位が町内唯一の高校を存続させるための意識や愛着を持つことが重要であり、地元の高校に進学することが当たり前というくらしいの意識醸成が図られることが、最終的に高校の存続につながるものと考えており、志賀高等学校教育振興会を通じて学校の活性化が図られるよう、今後もバックアップする。

# 「逃げずに避難」への体制確立を求める

## 防災計画に反映していく

## 環境安全課長

梢

今回の地震を受け、全ての町民が逃げ切れることは不可能という不安が大きく、「逃げずに避難」の確立が必要と考える。

今後、住民の命を守るために、原発災害時の屋内退避に備え、住宅の耐震化及び、ヨウ素剤配布などの体制をどう確立するか。

環境安全課長

町の地域防災計画では、UPZ圏内の住民は屋内退避の行動を取ることとしているが、家屋の倒壊が大規模な場合、屋内退避が不可能な住民が生じる恐れがある。

復興基金事業である「住宅耐震化促進事業」等も活用しながら、町民に対し本制度を広く周知し、町内の住宅の耐震化率の向上を図る。

住民に対し、訓練や研修を通じて、安定ヨウ素剤の効果も周知しながら、体制構築を図る。

### その他の質問

梢

復興に向けた今後の検討要素と流れを聞く。

町長

「かえる、志賀町」を基本理念に掲げ、復興の将来像と方針を定め、復興計画に14の施策、その下に43の取組項目、87のプロジェクトを位置づけている。

※UPZ圏内とは

原子力災害時に放射線被ばくによる影響を最小限に抑えるために、緊急防護措置を行う区域

議員の

ひとこと

子どもたちの未来を拓く学校づくりをみなさんと共に考えていきたいです!

# 課長職に女性の登用を

## 年齢・性別に関係なく登用

町長



堂下 健一 議員



動画はコチラから

堂下

本町では残念ながら女性の課長職登用が未だにゼロの状況である。

本町でも管理職登用へ向けての環境づくりはされていると思うが、今後、予定されているか。

町長

管理職を希望する意欲と能力のある女性職員がキャリアアップできる体制を構築し、女性が働きやすく、力を発揮できる環境整備に取り組んでいく。

参事として研鑽に励み、課長たるに相応しいリーダーシップや、部下のマネジメント能力の向上に努めることで、年齢・性別に関係なく、課長職へと登用されるものであり、登用は要件次第である。



避難所でのトイレ環境の改善が必要

堂下

災害は待ってくれない。最悪の事態を考慮し、トイレ・キッチン・ベッドのT・K・B48(48時間以内)の早急な計画策定が求められるが、その計画はあるか。

町長

次の災害に備え、必要な物資等を速やかに整備するとともに、今回の対応等を検証し、地域防災計画、物資の備蓄や調達に係る計画の見直しなどに取り組み、避難所における生活環境のさらなる向上に努める。

復興計画のリーディングプロジェクトに位置づけた、大規模災害時に多数の避難者が1週間程度避難することができ、オフグリッド型の避難拠点施設の整備を進め、スフィア基準や感染症対策にも対応した安全・安心な避難拠点施設の確保により、防災対策の強化を図る。

議員の

ひとこと

避難所生活9か月、我が家に戻って3か月の1年はあつという間でした。

# 避難所での生活環境向上に努める

町長

災害時の  
トイレ キッチン ベッド  
48時間内  
計画の早期策定を

その他の質問

堂下

文化遺産や町が所有する芸術作品を展示する場が必要と思うが、構想はあるか。

教育長

今後、文化財等の活用方法も含め事業を推進していく。

堂下

地震との複合災害を想定した原子力防災の総括は行っているか。

環境安全課長

今後の防災体制の実効性をより高めていくためにも、国や県に対し、避難計画に関する指針の見直しなどを強く要請していく。

## 全国原子力発電所立地議会サミット

### 原子力発電と立地自治体の在り方を考える



全国から300人を超える関係者が参加した



5つの分科会では地域が抱える具体的な課題について意見交換が行われた

令和6年10月31日(木)、11月1日(金)に東京都で、第14回全国原子力発電所立地議会サミットが開催され、議員10名が参加しました。

経済産業省大臣官房エネルギー・地域政策統括調整官佐々木雅人氏による「エネルギー・原子力政策について」の講演の後、5つの各分科会に分かれ、テーマごとに議員同士の積極的な意見交換が行われました。

#### ✓ 議員の視点

- 他の市町村議員と意思統一できたことは非常に良い点だった。
- 地域振興策に国が積極的に関与すべきと感じた。
- 毎回お決まりの行事感が強い。横並びではなく、積み重ねのサミットとしてほしい。

サミット宣言 全文はコチラから →



## 石川県原子力避難訓練

### 避難計画など課題対応を視察



《志賀オフサイトセンター》  
非常時には本部運営拠点となる



《航空機によるモニタリング》  
上空から空間放射線量を測定する



放射線防護施設の代わりとなる、可搬型のエアテント



令和6年11月24日(日)、『志賀町で震度7の地震が発生し、志賀原発2号機において原子炉が自動停止するとともに外部電源が喪失、非常用の炉心冷却装置による注水が不能となり全面緊急事態となった』との想定で訓練が行われました。

訓練は能登半島地震後初めての訓練で、志賀町を中心に県や北陸電力など約130機関600人が参加しましたが、被災者の負担を考慮し、地元住民の参加はありませんでした。

訓練では避難経路など、令和6年能登半島地震で直面した課題への対応が確認されました。

#### ✓ 議員の視点

- 有事の際の弱点を感じる訓練であった。次年度以降に期待する。

聞かせてください!

あなたの



# 志賀町 復興計画 かえる 志賀町

町では令和6年能登半島地震から1日も早く町の姿を取り戻すため、本町の復興に向けた基本理念を「かえる、志賀町」と定め、「復興計画」を策定しました。

この理念に基づき、復興の将来像や復興方針を定め、復興に向けた取組が推進されます。

今回は復興計画について、みなさんのご意見をお聞きしました。

復興計画は  
こちらから →



## 人が帰る 元に戻る 町を変える

### 60代 男性

いろいろと理想は書いてありますが、今住民が求めていることを最優先に取り組んでいただきたい。

特に災害公営住宅は住民が安全で利便性の高い場所を選んでください（住民は皆高齢で自宅の再建は経済的に不可能なので）



### 男性

復興計画の進捗状況や達成状況について、町民への透明性を確保するために、毎年、進捗報告を公表することを求めます。

これにより、町民は復興の現状を理解し、信頼を深めることができます。また、計画の遅延や課題に対する早期対応が可能になります。



### 50代 女性

復興計画に目を通しました。

復興に向けた基本理念の「かえる、志賀町」という言葉がとても心に響きました。

『帰る、返る、変える』まさしくその通りだと思います。

そのためには、不安や心配な気持ちが消え、安心な気持ちで生活できる志賀町になってほしいです。いまだに地震の揺れが起きるので、安心できる避難場所として複合型の避難拠点施設と防災公園の整備は重要だと思いました。

創造的復興リーディングプロジェクトとして掲げている8つの項目は実現させてほしいです。

コミュニティとして集会所の修繕・建替え等の支援と書かれていますが、それも一つの方法だと思いますが、地区ごとの場所ではなく、普段からいつでも利用でき、人が自由に集まれる交流拠点の建物が中心部にあると良いと思います。



### 60代 男性

町側の説明では住民や地域の声をしっかり聴くといっているが、実感としてはそうっていない気がする。

しっかりと結果ができるように事業を行ってほしい。



60代 男性

地震が起きてからもう1年が経とうとしていますが、被災した町並みを目に見ると、何も変わっていないのではないかと心が痛みます。

復興計画では、復興に向けての方針を考えているのを理解できました。

この計画が一日でも早く実現に向かって進んで欲しいと思います。



70代以上 男性

町の計画では復興期が令和10年度までと長い先までありますが、仮設住宅者、県内外に移住した住民が町内に戻る事が難しいと思います。

又、仮設住宅に入ることとせずに、半壊以上の方達が家のリフォームをして残ると判断した人が多くなりました。

しかし震災前1坪当たりの修繕工事が70万くらいから100万円になり、今は130万くらいという現状で、リフォームもできない状況です。リフォームにかかった金額や、かかる金額等、支援強化を考慮ください。



男性

地域集会所は災害時の緊急一時避難所としての役割を果たす重要な施設であり、地域コミュニティの拠点としても不可欠です。

しかし、地区によってはその維持管理が非常に大きな負担となっているのが現実です。

地区集会所の維持管理にかかる費用に対して、少額の助成金を支給することができないか、検討をお願いします。



50代 女性

全体的に理想的すぎる感じがします。本当に実現できるのか心配です。

富来地域と志賀地域の格差がおおきくならないようにお願いします。



60代 男性

復興計画のメインのテーマである「かえる」。発災後2次避難を含めかなりの被災者が旧富来町から流出している現状をふまえ、町としては今後どのような施策を発信して帰ってきてもらうのか、早急に対応すべきである。

災害公営住宅の場所をどこに決定するのか、地域住民と早急に話し合うのが必要である。

また、どのような住宅なのかも示してほしい。



70代以上 男性

町民の暮らしの再建について、公費解体は少しずつではあるが進んできたように思えます。解体後の災害に強い住宅の整備と災害公営住宅の将来的な見通しが住民側には見えていない様に思います。これは何故なのか行政側からの解答を求めたい。

発災してから早1年が経過しようとしている今日、プレハブ仮設住民は後1年しか生活できません。そういった事も含め、将来的な住環境の展望を求めます。





# 議 場 見 学

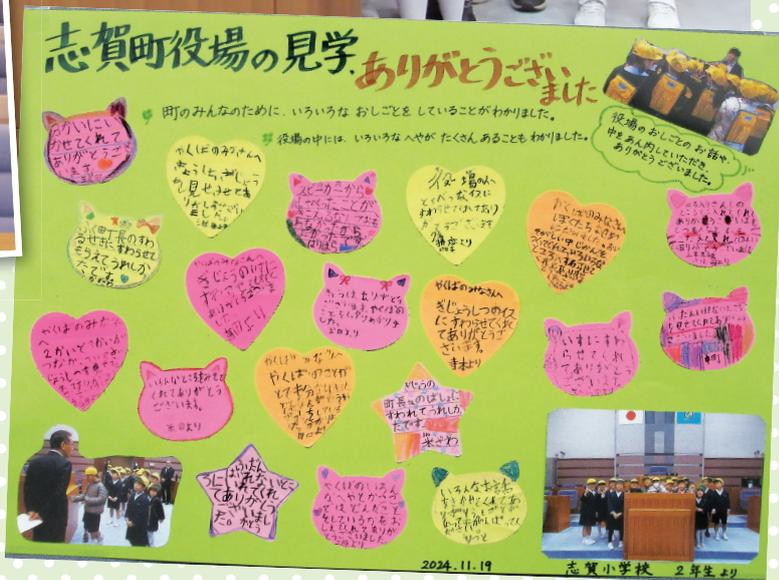
令和6年11月19日、志賀小学校2年生が、議場見学に訪れました。



議長さんや町長さんの椅子に座らせてくれてありがとうございました。



いろいろなお話をきかせてくれて、ありがとうございました。



## 皆さんの **しかまちLIFE** お聞かせください!

編集後記

能登半島地震から1年が経ちました。復旧・復興はまだ始まったばかりですが、皆様と共に1日も早く「人が帰る・元に戻る」志賀町にしていきたいと思っています。町民の皆様にとって、心穏やかな1年になりますよう、お祈り申し上げます。(表谷 茂浩)



「しかまちLIFE」のコーナーでは、皆さんから志賀町のことをお聞きたく、インタビューを受けていただく方を募集しています。皆さんの応募、お待ちしております。

※申込方法は下のQRコードから。

議会へのご質問、「ぎかいのひろば」についてのご感想・ご意見などありましたら、ホームページの入力フォームをご利用下さい。



## お知らせ

3月定例会本会議の日程(予定)です。傍聴に来ませんか。

※本会議はケーブルテレビでも視聴できます。(生放送・録画放送)

2/25 (火)	本会議 10:00	議案の上程 (町長が町の近況や議案説明をします。)
3/4 (火)	本会議 10:00	一般質問 (議員が町政について質問をします。)
3/14 (金)	本会議 14:00	議案の採決 (議案の可否について決定をします。)

発行責任者	議長	委員	副委員長	委員	議員
福田 晃悦	表谷 茂浩	南 正紀	寺井 俊一	富澤 俊一	櫻井 俊一
議会広報特別委員会					